

輸送の安全に関する計画

1. 輸送の安全に関する目標を達成するため、過去の計画の実施状況等を勘案し、現状の問題点等を把握したうえ、必要な年間計画を作成し実行する。
2. 実施事項
 - ① 両備グループバスユニット安全マネジメント委員会への出席（年4回）
 - ② 両備バスカンパニー安全マネジメント委員会への出席（年12回）
 - ③ 両備タクシーユニット安全マネジメント委員会への出席（年12回）
 - ④ 毎月10日をSSP-UP[S=safety & security(安全)、S=service(サービス)、P=productivity(生産性)、UP(向上)]推進日とし、全社員胸にリボンを着けて安全・サービスの向上を図る。
 - ⑤ 春・秋・年末年始の全国交通安全運動の推進
 - ⑥ 運転者の適性診断の受診（2年に1回受診）
 - ⑦ 定期健康診断の受診（夏・冬2回実施）
 - ⑧ 産業医による健康相談の実施
 - ⑨ 毎年7月31日を「両備グループ安全の日」とし、安全サービスの高揚に努める。
 - ⑩ 毎年7月を「両備グループ安全月間」とし、胸に安全リボンを着けて安全・サービスの向上を図る。
 - ⑪ 両備グループSSP-UP技能コンテストへの参加
 - ⑫ 運転者の運転記録証明書の取得
 - ⑬ 年末年始の全国安全総点検運動への参加

2019年 乗務担当社員教育 年間計画表

東 備 バ ス

実施月	教育内容		
	東備バス主催教育	両備バス主催教育	両備グループSSP-UPセンター・社外
1月	自動車を運転する場合の心構え	一般乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)	運行管理者(運行管理補助者)教育 チェーン装着訓練	事故惹起乗務担当社員教育
2月	運行の安全を確保するために遵守すべき事項	一般乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)	事故惹起乗務担当社員教育	ベテラン(高齢)乗務担当社員教育 SAFETY教育 初任乗務担当社員フォローアップ教育
3月	自動車の構造上の特性	新入乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)		事故惹起乗務担当社員教育 初任乗務担当社員フォローアップ教育 運転実技教育(クレフィール湖東)
4月	乗車中の旅客の安全確保	新入乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)	事故惹起乗務担当社員教育 指導乗務担当社員教育	SAFETY教育
5月	乗降時の安全確保	新入乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)		事故惹起乗務担当社員教育 接客サービス教育
6月	適切な運行の経路及び当該道路における道路及び	一般乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	運行の状況	事故惹起乗務担当社員教育	ベテラン(高齢)乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)	運行管理者(運行管理補助者)教育	SAFETY教育 初任乗務担当社員フォローアップ教育
7月	危険の予測及び回避並びに緊急時対応	一般乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)	運行管理者(運行管理補助者)教育	事故惹起乗務担当社員教育 初任乗務担当社員フォローアップ教育
8月	運転者の適性に応じた安全運転	一般乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)	運行管理者(運行管理補助者)教育	SAFETY教育 接客サービス教育
9月	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要	新入乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	因及びこれらへの対処方法	事故惹起乗務担当社員教育	事故惹起乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)		接客サービス特別教育 SSPup技能コンテスト予選会
10月	健康管理の重要性	新入乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)		SAFETY教育 SSPup技能コンテスト
11月	安全性の向上を図るための装置を備えるバスの	新入乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	適切な運転方法		事故惹起乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)		初任乗務担当社員フォローアップ教育 接客サービス教育
12月	ドライブレコーダーを利用した安全運転	新入乗務担当社員教育	初任乗務担当社員教育
	事故事例(国交省メルマガ使用)	事故惹起乗務担当社員教育	ベテラン(高齢)乗務担当社員教育
		一般乗務担当社員教育	SAFETY教育
		運行管理者(運行管理補助者)教育	初任乗務担当社員フォローアップ教育

* 随時、該当者を派遣(参加)

* 随時、該当者を派遣(参加)